

泰らぎ

Vol.61
2022年
秋号



～精神科急性期病棟より～【すこやかから応援の色紙】



温故会
直方中村病院
<http://www.onkokai.jp/nakamura/>
編集・発行 直方中村病院広報委員会

- P1 表紙・目次
- P2 【クラスターを経験して】～吉村院長より～
【活動のご紹介】～広報委員会より～
・温故会 YouTube のご案内
- P3 【活動の報告】～認知症治療病棟より～
・コロナの対応と感謝
- P4 【活動の報告】～デイケアより～
・チューリップの会 (園芸)

クラスターを経験して ～吉村院長より～

この度のクラスター発生では、なんとか収束させることが出来ました。これも多くの温故会職員の皆様の献身的な、まさに自分自身も感染するかも知れないという恐怖と責任感を伴った働きによるものと感謝いたします。私たちの温故会は精神科に老人保健施設を併設しており、コロナのクラスター発生には細心の注意を払ってきました。しかし、オミクロンの感染力には適わず、先ず、すこやかにクラスターが発生し、1病棟、さらに3病棟にも感染者が出てしまいました。しかし、すこやかは建物の構造上レッドゾーンの設定が容易で、被害を最小限に止めることが出来たのは幸いでした。しかし、1病棟ではゾーン設定の困難さなどもあり、収束には時間を要しました。そこで考慮すべき事は、ゾーニングや感染対策を講じたにもかかわらず、多数の感染者が出たことです。隔離は相当できていたと思われる病棟でも、多くの感染者がでたことから、他の要因も考える必要があるでしょう。単に高齢者が大半であったからという可能性はもちろんですが、一度検討し明らかにすることが必要であると考えております。



パンデミックの発生はこれで終りと言う訳にはいきません。それに備えるには今回のクラスター拡大から多くを学び、将来の感染拡大に対してより効果的な対策を練ることでしょう。過去のことを知らない者は将来に備えることはできない『キケロ、古代ローマの哲学者』。古きを尋ね新しきを知る『温故知新、論語、孔子』は社団名でもあります。

直方中村病院 院長 吉村 恵

活動のご紹介

～広報委員会より～

【温故会YouTubeのご案内】

動画の発信・配信をやっている医療機関増えたと思いますが、当院のチャンネルは医療機関が「作ってください」と言って、出来たというコンテンツではございません。

そもそものきっかけは、当院デイケアプログラムにあります。当院の精神科デイケアでは身体を動かすレクや自然に親しむ園芸や農耕のプログラムや手芸などの物作り等、様々なプログラムがあります。その一つとして平成29年頃から手話コーラスや楽器演奏、歌作りなど音楽を用いたプログラム「セッション」の活動を毎週火曜日行っていました。現在は歌作りや作曲活動に関わっていた有志メンバー3名と週1, 2回一時間程度、現在でも昼休みに集って音楽活動を続けさせていただいています。そんな中去年の春ごろ、バンド活動の主要メンバーである当院Dr.の三苫医師より、「患者さんが主体性を持ってせっかく続けてきているので、なんとか形にしましょうよ」と言葉をかけていただきました。この一言で、着々と準備を進め、参加しているメンバーさんの同意も得て、音楽活動内で制作された楽曲をYouTubeないで配信することになりました!!世界のどこでもない、ここにしかない心の歌です。

第一弾、「ささえ」 第二弾「明日はいつか晴れる」

歌詞・歌・ギター・ピアノ…すべて当院の患者さんのオリジナルです。アレンジは皆で。聴いて下さる方の声も届いています。この歌はささえ、ささえられている世界から希望をこめて、どんなときでもどんなすべての方々の存在にもエールと感謝を贈りつづける讃歌です。聴いて下さったかた、これから聴いて下さる方々、皆様、ありがとうございます!よろしく願いいたします! 文責・直方中村病院PSW 田中

動画サイト <https://youtu.be/76gCzW6lHeA>



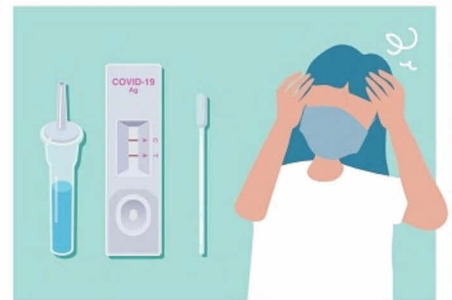
活動のご報告

～認知症治療病棟より～【コロナの対応と感謝】

早いものでもう9月です。

8月は認知症治療病棟にとってとても厳しく大変な時をすごしました。

中村病院のホームページでもお知らせはさせていただいておりましたが、
 コロナウイルスによるクラスターが病棟で発生し、今回のクラスター
 で患者様は約2/3の方が感染し、
 スタッフは26名中13名が罹患してしまいました。



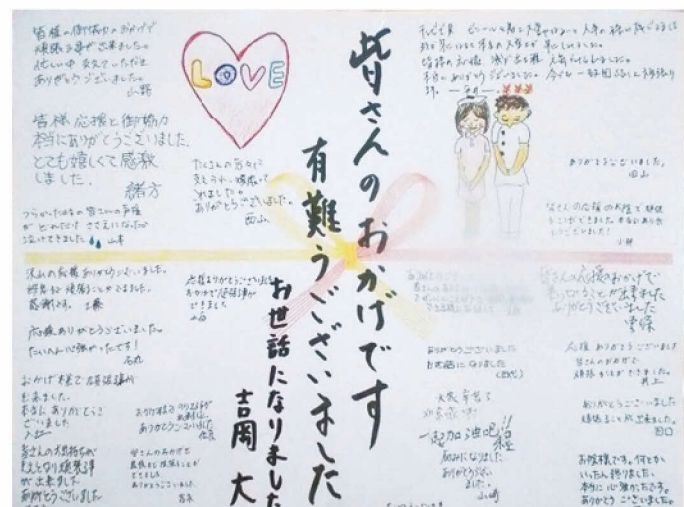
コロナウイルスの感染力のおそろしさを思い知らされました。
 どんどん発熱していく患者様を抗原検査し、感染者と濃厚接触者を
 分け、濃厚接触者への検査をしながら陽性者ができればまた部屋を
 移動。同時進行しながらその中でスタッフにも発症者。毎日が緊張感の連続でした。
 それでも収束まで、なんとか踏ん張ることが出来ました。

そんな中、他病棟のスタッフが感染部屋対応として応援に来てくださいました。
 暑い防護服を着ての看介護業務や、毎日の食事介助にきてくださり
 心強くもありとてもありがたかったです。

また、法人や1病棟のスタッフから何度もドリンクの差し入れ
 や、防護服を着た際、少しでも涼しくなるようにスプレーを差し
 入れして下さった方もいて、周囲の皆さんのやさしさがとても
 ありがたかったです。他部門の方も病棟から出られないスタッ
 フの為に3階までカルテや処方された薬を届けてくださったり
 患者様のご家族からの衣類を届けてくださ
 ったりと、様々な方の協力がありありがたかったです。



みなさんの応援、ご協力のおかげでクラスター
 収束することができ今日常に戻りつつありま
 す。
 ご心配をおかけ致しました。そして関わって
 いただいたすべての人に感謝致します。



▲1病棟にクラスターが発生した時の色紙です。

活動の報告

～デイケアより～【チューリップの会(園芸)】



当院デイケアでは、チューリップの会という活動があり、畑で野菜を植えています。



昨年の冬に玉ねぎやエンドウ豆等植え、今年の夏は、トマト、ミニトマト、ナス、ピーマン、キュウリ、甘瓜、ゴーヤを植えました。今年は豊作で、かなり多くの野菜を収穫することが出来ました。

その後、何度も収穫を行いました。

【玉ねぎの収穫】

玉ねぎの収穫はこの1回だけではありませんでした。今年は、スーパーでは玉ねぎ2個入りで360円位していて、高騰していました。しかし、チューリップの会のメンバーは、何度も収穫して持って帰っていたので、玉ねぎには、困らなかったのではないのでしょうか。スタッフも頂いて帰りました。



【夏野菜の収穫】

以前植えた大葉が勝手に生えていたので、収穫しました。白いものは、白ゴーヤです

カボチャは利用者さんが自宅で食べたカボチャからとった種を持ってこれそれを植えたところ、こんな立派なカボチャが出来ました。

利用者さんが仕分けをしてくれています。



今年は、野菜はどれも豊作でした。毎回、毎回たくさん収穫できました。

利用者さんが行った肥料の撒き方と毎日の水まきが良かったのでしょう。

夏の間は暑い日が続き、大変でしたが、熱中症になることもなく、無事収穫する事が出来ました。

冬に向けて、もうすでにサツマイモは植えており、今後、大根やカブ、ブロッコリー、ジャガイモなどを植える予定にしています。

収穫が楽しみです。

